

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：東川 直正

事業の概要

事業名	一般国道474号（三遠南信自動車道） 水窪佐久間道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家 至：静岡県浜松市天竜区佐久間町川合		延長	14.4 km	
事業概要	三遠南信自動車道は、長野県飯田市山本を起点とし、静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路である。 水窪佐久間道路は、静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家から静岡県浜松市天竜区佐久間町川合に至る延長14.4kmの自動車専用道路で、三遠南信自動車道の唯一の未事業化区間である。				
事業の目的、必要性	水窪佐久間道路は、佐久間道路・三遠道路（事業中）と連続し、災害に対して信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療サービスの向上及び物流ネットワークの確保による地域間の産業連携に寄与するものである。				
全体事業費	約900億円	計画交通量	約7,300台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
 【浜松市長】
 「一般国道474号（三遠南信自動車道）水窪佐久間道路」を予算化することについて同意いたします。
 本市としましては、三遠南信自動車道のネットワーク効果を最大限に発揮するため、本市が担当する国道152号現道改良区間の着実な整備促進及び（市）佐久間中部31号線等のアクセス道路の強化を図って参ります。また、事業が円滑かつ迅速に進められるよう、トンネル工事等により発生する土砂の処分に必要となる土捨て場の確保や地元調整など、実施環境整備に幅広く主体的に取り組んでまいります。
 つきましては、平成31年度の新規事業としての予算化に特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
 ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H26.3）、環境影響評価手続き完了（H30.11）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	2.3 (1.1)	総費用：1,324億円 （事業費：1,201億円 維持管理費：124億円）	総便益：3,061億円 （走行時間短縮便益：2,882億円 走行経費減少便益：144億円 交通事故減少便益：36億円）	基準年 平成30年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.1（交通量 -10%）	B/C=2.5（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=2.1（事業費 +10%）	B/C=2.5（事業費 -10%）	
		事業期間変動	B/C=2.2（事業期間 +20%）	B/C=2.4（事業期間 -20%）	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	・注目すべき影響はない	
		事故対策	○	・現道の線形不良箇所の回避により、事故減少に寄与 〔現道の課題箇所の回避〕 線形不良箇所（115箇所）の回避	
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	◎	・第三次救急医療施設までの搬送時間短縮により、60分到達可能カバー圏が拡大 〔第三次救急医療施設60分カバー圏〕 佐久間町 事業中区間整備後 66% ⇒ 整備後 81% 水窪町 事業中区間整備後 0% ⇒ 整備後 32%	
		地域経済	○	・物流ネットワークの確保により、地域間の速達性が向上 〔飯田市役所⇄浜松市役所の所要時間〕 現況 約200分 ⇒ 整備後 約150分	
		災害	◎	・災害に対し信頼性の高い道路ネットワークの確保により、現道の課題箇所を回避 〔現道の課題箇所の回避〕 災害等による通行規制箇所（過去6年13回）の回避 防災点検要対策箇所（27箇所）の回避 線形不良箇所（115箇所）の回避	
		環境	—	・注目すべき影響はない	
地域社会		○	・浜松市都市部への速達性が向上し、日常生活の利便性が向上		
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了（H26.3）、環境影響評価手続き完了（H30.11） ・浜松市長や三遠南信自動車道建設促進期成同盟会等より早期事業化を要望			

採択の理由

費用便益比が2.3と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、災害に対し信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療サービスの向上及び物流ネットワークの確保による地域間の産業連携への寄与などから、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの
 ※B/Cの上段の値は飯田山本IC～浜松いなさJCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
水窪佐久間道路は、佐久間道路・三遠道路（事業中）と連続し、災害に対して信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療サービスの向上及び物流ネットワークの確保による地域間の産業連携に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間周辺には第三次救急医療施設がなく、佐久間町や水窪町から最も近い第三次救急医療施設である聖隷三方原病院まで60分以内での搬送が困難な状況。 ・搬送ルート上には線形不良箇所や狭隘区間が多く、搬送時の患者への負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ※浜松市のみちづくり計画（H30.3） ・災害時の支援、避難や高次医療施設への短時間の搬送等の観点から東名、新東名高速道路のほか、長野方面や日本海側の主要拠点との連携には三遠南信自動車道等の広域のかつ緊急時の道路ネットワークの確保が不可欠です。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信地域は、広域的な道路ネットワークの空白地帯であり、現道において、災害による通行止めが多発している。対象区間周辺でも過去6年間（H24-H29）に災害等で通行止めが13回発生、災害に対して非常に脆弱。 ・並行する国道152号には防災点検要対策箇所や線形不良箇所が連続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ※三遠南信災害時相互応援協定（H26.11） ・三遠南信地域内に災害が発生したとき、各都市相互の応援による応急措置等を円滑に遂行するため、必要な事項について定める。 ※浜松市のみちづくり計画（H30.3） ・災害時の支援、避難や高次医療施設への短時間の搬送等の観点から東名、新東名高速道路のほか、長野方面や日本海側の主要拠点との連携には三遠南信自動車道等の広域のかつ緊急時の道路ネットワークの確保が不可欠です。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信地域では航空宇宙産業の特区を形成し、航空関連産業の企業立地が増加、飯田市や浜松市、豊橋市等の産業連携が大幅に増加。 ・飯田市～浜松・豊橋市間の物流は、現況では、狭隘ですれ違い困難な現道ルートを使用しており、輸送時間が産業連携の弊害となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第2次三遠南信地域連携ビジョン（案）（H30.10） ・人や物の交流が活発になることで地域が一体的に発展していくために、この地域の交通ネットワークの主軸となる三遠南信自動車道やそれに接続する道路などの整備を推進する。 ※浜松市のみちづくり計画（H30.3） ・南信州・北遠地域から浜松市街地への移動時間が大幅に短縮し、天竜材の輸送効率化や観光周遊性の向上など、産業・観光の活性化が期待されます。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がCランク→Bランクに改善するとともに、災害時の不通リンクの解消により、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、現道の課題箇所を回避し、災害に対し信頼性の高い道路ネットワークが確保されるとともに、救急医療サービスの向上や地域間の速達性の向上が図られるなど、有効性の高い事業と評価できる。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	浜松市	水窪協働センター	12 (12)	0.49 [C] 〔0.41〕 [C]	0.18 [B] 〔0.26〕 [B]	▲197.90 (▲67.70)	0.19 (0.15)	0.42 (0.25)	◎

事業の効率性
計画段階評価手続き完了（H26.3）、環境影響評価手続き完了（H30.11）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は飯田山本 IC～浜松いなさ JCT を対象とした場合、
下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果